

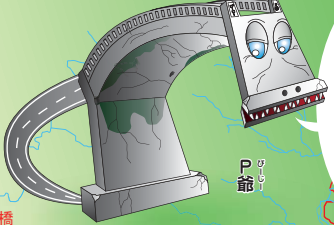
# 橋のお医者さんが守る

## (主)南アルプス公園線

大島橋

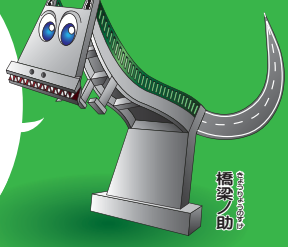


トラス橋の上弦材や斜材などの高所は、橋梁点検車を用いて近接目視しています。ハイテンションボルトでは無くリベットによる接合のため、特にリベット軸部の亀裂、破断に注意して点検します。



そうじゃったのか。最近、ひびわれや漏水・遊離石灰が酷くてー。

P.じい、知ってた？橋も人間の様に定期健診(点検)しないとイケないんだよ。



赤土沢橋



橋梁点検車を用いることで、河床からは見えなかった床版の損傷も一目で見つかります。ハンマーによる打音検査をおこない、コンクリートの空洞化、鉄筋の錆によるコンクリートのうき状況を点検します。

大玉橋



近接目視だけでは計り得ない内部損傷を調査するために、鋼桁の塗膜調査や、コンクリートの中性化深さ測定試験(ドリル法)などをおこない、入念に補修計画します。



細ノ尾橋



中央の写真は、耐候性鋼材が塩分(凍結防止剤)を含む漏水等の影響により、安定錆が剥離した損傷写真です。補修工法として右の写真の様に剥離した箇所を塗装をおこないます。



(主)南アルプス公園線は、畑薙第一ダム付近を起点に、国道362号との交点を終点とする主要地方道であり、市街地と井川地区をつなぐ全長約74kmの道路です。

大小約80橋の橋梁があり、この多くが昭和30年代の高度経済成長期以降に架設されたものです。架設後50年を経過していることから、有資格者による点検・診断をおこない、計画的な維持補修が必要となってきます。

定期点検の実施(予防保全型維持管理)をおこなうことで、橋梁長寿命化によるライフサイクルコストの縮減及び維持・更新費の削減を図り、道路交通網の安全・安心を確保していきます。



定期点検って大事な仕事なのね。わたしも今度診てもらおうかしら。